

# 省 科 文 県立大プログラム支援 「北東アジア研究者養成」に2年

文部科学省が優れた大学院教育を選んで重点支援する今年度の「魅力ある大学院教育イニシアチブ」に、

県立大（浜田市）の「実践的北東アジア研究者の養成プログラム」が採択され、2年間、同省の財政援助で研究に取り組むことになった。全国の大学から3分野で268件の応募があり、46件が採択されたが、「人文系」分野では公立大で初めて、山陰両県の大学では唯一の採択となった。

同プログラムは、同大の北東アジア地域研究（NEAR）センターと北東アジ

ア研究科博士課程と連携して、実践的で、幅広い思考力と高い問題解決能力を持つ人材を育てるのが狙い。

具体的には、院生を同センターのシンポジウムや研究会に参加させたり、留学させたりして、基礎知識習得や国際的に通用する力を養ってもらおう。また、博士課程に合格できるほどの公開講座修了者らを市民研究

員として募り、院生との交流を通して地域のリーダーとしての資質を身につけることなどを目指している。

宇野重昭学長は「地方の小規模の大学院というテーマリットをメリットとして生かした。採択は大学の活性化につながり、2年間で基礎固めをして、援助なしで自力でやれる体制を作りたい」と話している。